

様式 8

：「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「芦田川きれい☆きれいプロジェクト
『河川浄化チャレンジ月間』」

助成番号：2019-6113-006

芦田川環境マネジメントセンター
田中 宏行

2019 年度

1. 事業概要

芦田川環境マネジメントセンター、国土交通省 福山河川国道事務所及び福山市は、芦田川の水質浄化に取り組む『河川浄化チャレンジ月間』を、2019年11月1日～11月30日の1ヵ月間実施しました。

『河川浄化チャレンジ月間』は平成19年度からスタートしており、通算で13回目となります。今年度は、瀬戸学区・駅家学区・津之郷小学校・赤坂小学校・御野小学校・中条小学校・服部小学校・竹尋小学校・宜山小学校・常金丸小学校・駅家東両学校・駅家小学校・網引小学校・瀬戸小学校・幸千中学校及び流域の市民団体の皆様にアンケートにご協力をいただくとともに、瀬戸川・高屋川流域を中心に、芦田川流域全体に“家庭で出来る水質浄化の取り組み”の実践を呼びかけました。

参加者からは、意識の変化や今後の取り組みへの決意など、年間を通じた取り組みとして流域全体へ展開していくことが期待できる積極的な意見を多数いただきました。

今後は、このような芦田川の水質浄化に向けた草の根運動が契機となって、各家庭に水質浄化の取り組みが定着するとともに、芦田川流域全体に広まり、芦田川の水質が改善していくことを期待します。

2. 取り組み内容

2.1 取り組み状況

流域の町内会や、学校、地元団体、企業などに広く取り組みの実践を呼びかけた結果、全体で1,648世帯に参加いただけました。

水質調査では、生活排水等の汚れの量が削減されており、多くの方々に取り組んでいた結果であると考えます。

なお、図 2.1 に示す学区・小学校には、チラシやアンケートの配布・回収にご協力をいただきました。参考として、以下にアンケート回収数を示します。

| | | | |
|-----------------------|---|----------|------------|
| 瀬戸川流域 | : | 1,045 世帯 | |
| (瀬戸学区、津之郷小学校、赤坂小学校など) | | | |
| 高屋川流域 | : | 353 世帯 | |
| (駅家小学校、御野小学校、服部小学校など) | | | |
| 芦田川本川流域等 | : | 250 世帯 | 計 1,648 世帯 |

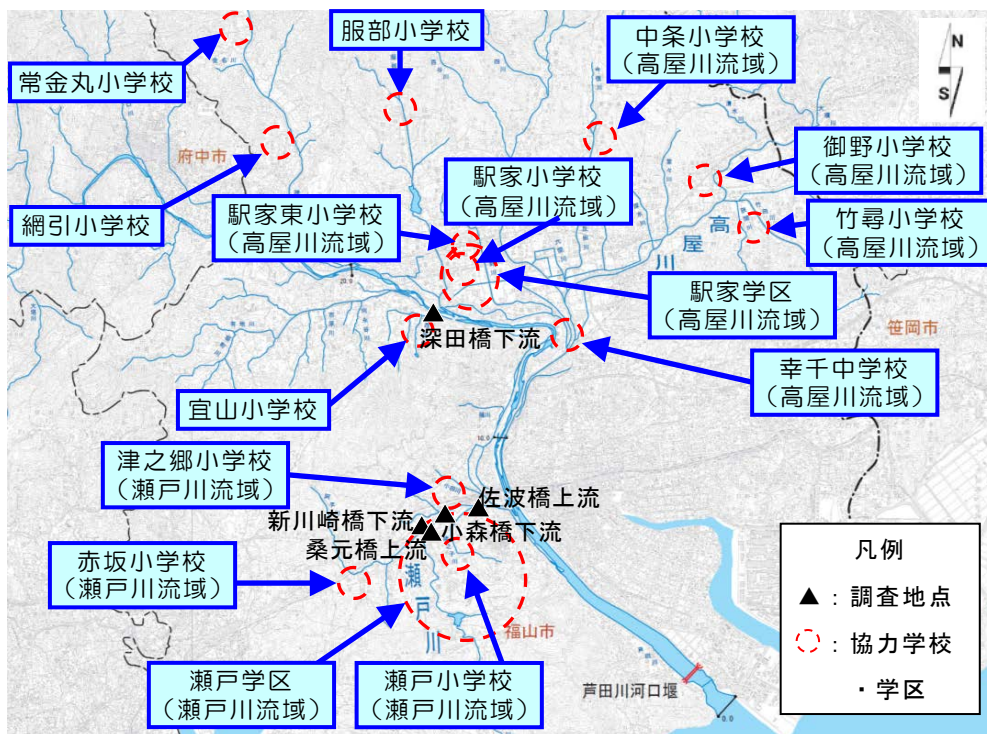


図 2.1 ご協力いただいた学区および学校のエリアと水質調査地点

表 2.1 ご協力いただいた学区・学校・団体

| 実施手法 | 対象地域・団体等 | 備考 |
|--------|-----------|-------|
| ホームページ | 芦田川流域 | |
| ハガキ | 全体 | |
| 町内会 | 瀬戸学区（瀬） | |
| | 駅家学区（高） | |
| 小学校 | 津之郷小学校（瀬） | 5年生 |
| | 御野小学校（高） | 4年生 |
| | 中条小学校（高） | 4年生 |
| | 赤坂小学校（瀬） | 4～6年生 |
| | 服部小学校（高） | 5,6年生 |
| | 竹尋小学校（高） | 4年生 |
| | 常金丸小学校（芦） | 5,6年生 |
| | 宜山小学校（芦） | 全学年 |
| | 駅家東小学校（高） | 4年生 |
| | 網引小学校（芦） | 4年生 |
| | 瀬戸小学校（瀬） | 全学年 |
| | 駅家小学校（高） | 4年生 |
| | 幸千中学校（高） | 全学年 |
| 団体 | 堂々川ホテル同好会 | |
| 企業 | 日本化薬(株) | |

※（瀬）：瀬戸川流域、（高）：高屋川流域、（芦）：芦田川中・上流域

【参考】瀬戸学区（町内会）での説明会の様子

福山市環境保全課にご協力いただき、学区での説明会を行いました。チラシや啓発教材（水切りネット）を配布し、家庭でできる取り組みの実践について説明を行い、チラシの配布、アクションシートへの記入について、ご協力をお願いしました。



図 2.2 河川浄化チャレンジ月間の説明会の様子

2.2 取り組み項目

各家庭で5つの取り組みを実施していただきました。5つの取り組み項目を図 2.3 に示します。

- ① 排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない
- ② 汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う
- ③ 食用油は直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりしてごみとして出す
- ④ 食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす
- ⑤ 洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける



図 2.3 取り組み項目

2.3 水質調査スケジュール

水質調査は以下のとおり実施しました。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・2019年 9月～ | 事前説明（各学区会長、町内会長等） |
| ・2019年 10月 23～24日 | 水質測定（取り組み前） |
| ・2019年 11月 1日～ | 水質浄化の取り組みの実践（1ヵ月間） |
| ・2019年 11月 14～15日 | 水質測定（取り組み中） |
| ・2019年 11月 30日 | 水質浄化の取り組み終了 |
| ・2019年 12月～ | アンケート等の回収・整理 |
| ・2020年 2月中 | 結果のとりまとめ・公表 |

3. 実施結果

3.1 水質調査結果

調査前後の水質で見ると、実施前に比べ実施中は、BOD に関しては 31%、T-P に関しては 29%、水質の改善が確認されました。

調査期間中の瀬戸川の水質はばらつきがありましたが、全調査地点の BOD 平均値は実施前で約 2.8 mg/L であり、瀬戸川下流域の環境基準 (3 mg/L) ※と同程度での調査となりました。

各取り組み項目について、本チャレンジ月間の前後も含め流域住民の皆さまに取り組んでいただいていることで、良好な水質が維持されていると考えられます。

なお、本調査はあくまで改善傾向を把握するものであり、朝・夕 1 回ずつの調査結果となるため、水質の削減率は正確な改善量というわけではありません。

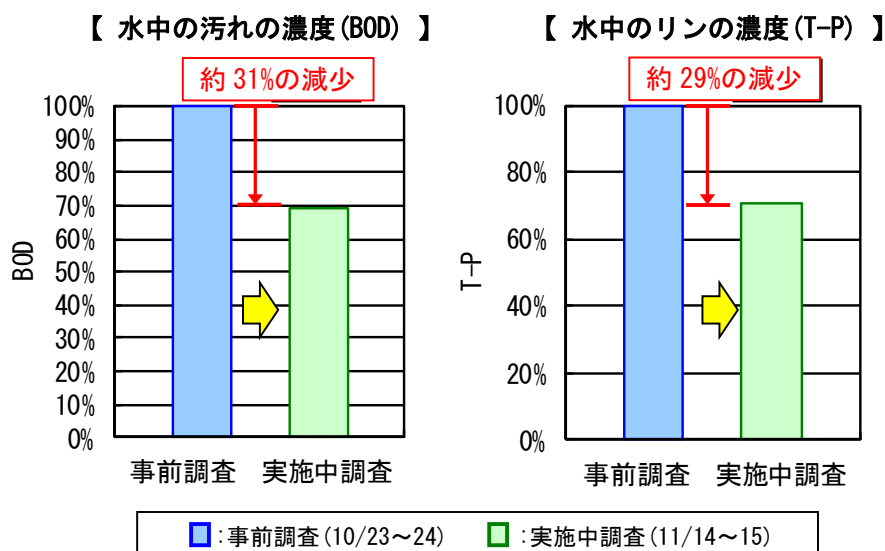


図 3.1 水質調査結果の比較 (代表地点)



図 3.2 水質調査実施状況 (実施中)

※瀬戸川下流は類型 B に区分されています。利用目的の適応性は、以下のものが挙げられます。

- ・水道 3 級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- ・水産 2 級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用
- ・類型 C 以下で掲げるもの

3.2 参加者からの意見（一部抜粋）

取り組み実施後のアンケートでは、意識の変化や今後の取り組みへの決意など、年間を通じた取り組みとして流域全体へ展開していくことが期待できる積極的な意見を多数いただきました。

- こういう取り組みをすることで芦田川をきれいにしようとする意識が高まっていくと思うのでいいと思います。
- 素晴らしい取り組みなので、続けて欲しいですし続けたいです。一人でも多くの方が意識を高めて未来の子ども達に安心して暮らせる環境であって欲しいものです。
- 私が小学校の頃は川(芦田川)で泳いで遊んでました。そんな川に戻って欲しいです。
- 子どもの頃に、環境を大切にする取り組みや学習をすることで、大人になっても役立つと思います。毎日の生活で気をつけることは、とても良い習慣につながると思います。
- このような取り組みがあることを初めて知りました。意識して生活排水の取り組みをしてみると、何げなくしていたことが、あたりまえの行動になりました。小さなことですが自分の行動が少しでも芦田川の美化に役立つと嬉しいです。
- 芦田川の汚れはよく新聞にも出ていますが、水質浄化にどんなことができるのか、1人1人が意識して、日常から取り組めるようにしたいものです。

「河川浄化チャレンジ月間」にて実施したアンケート調査結果を取りまとめたものを以下に示します。

3.2.1 Q1 あなたの年代をお答えください。

回答者の年代は、60代以上の方が最も多く約3割、次いで40代の方が約2割という結果となりました。

表 3.1 回答者の年代

| Q1 | 回答者年代 (人) |
|-------|-----------|
| 20代未満 | 249 |
| 20代 | 24 |
| 30代 | 197 |
| 40代 | 329 |
| 50代 | 139 |
| 60代以上 | 498 |
| 無回答 | 212 |
| 合計 | 1648 |

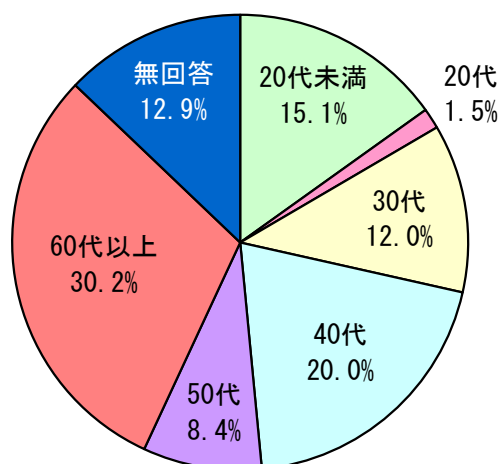


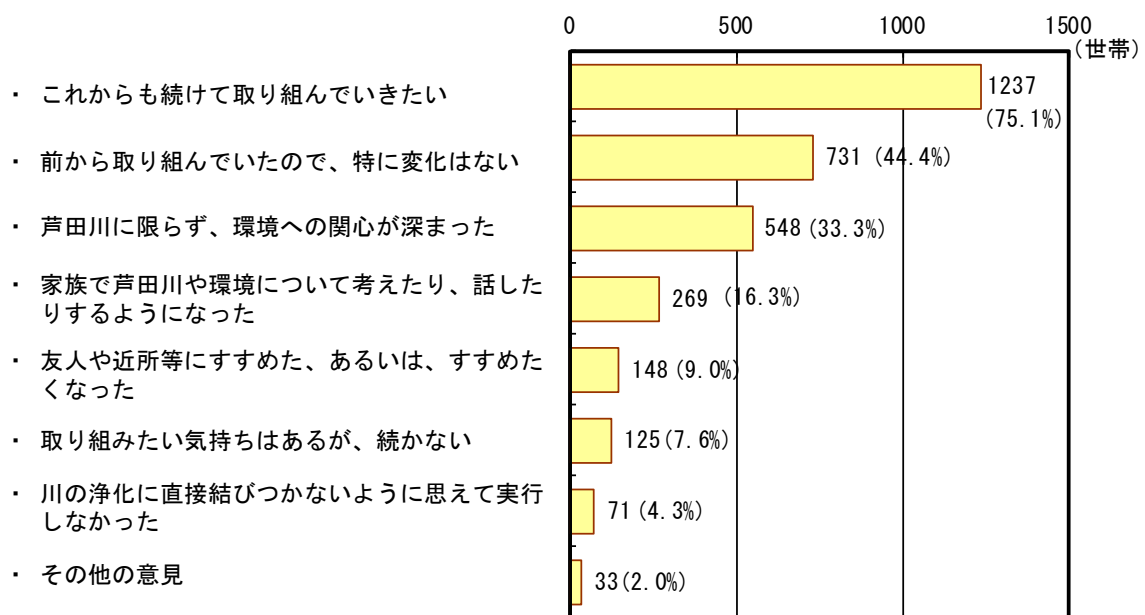
図 3.3 回答者の年代の内訳

3.2.2 Q2 「水質浄化の取り組み」を実行して、感じられた事、行動の変化等はいかがですか？

「これからも続けて取り組んでいきたい」という意見が、全体の約8割と最も多い結果となりました。

「前から取り組んでいたのに、特に変化はない」という意見が全体の約4割であり、普段から継続して実施している人が半数近くみられる結果となりました。

「芦田川に限らず、環境への関心が深まった」という意見が全体の約3割であり、本取り組みを通じた、環境に対する意識向上が確認されました。



[その他の意見 (主な回答)]

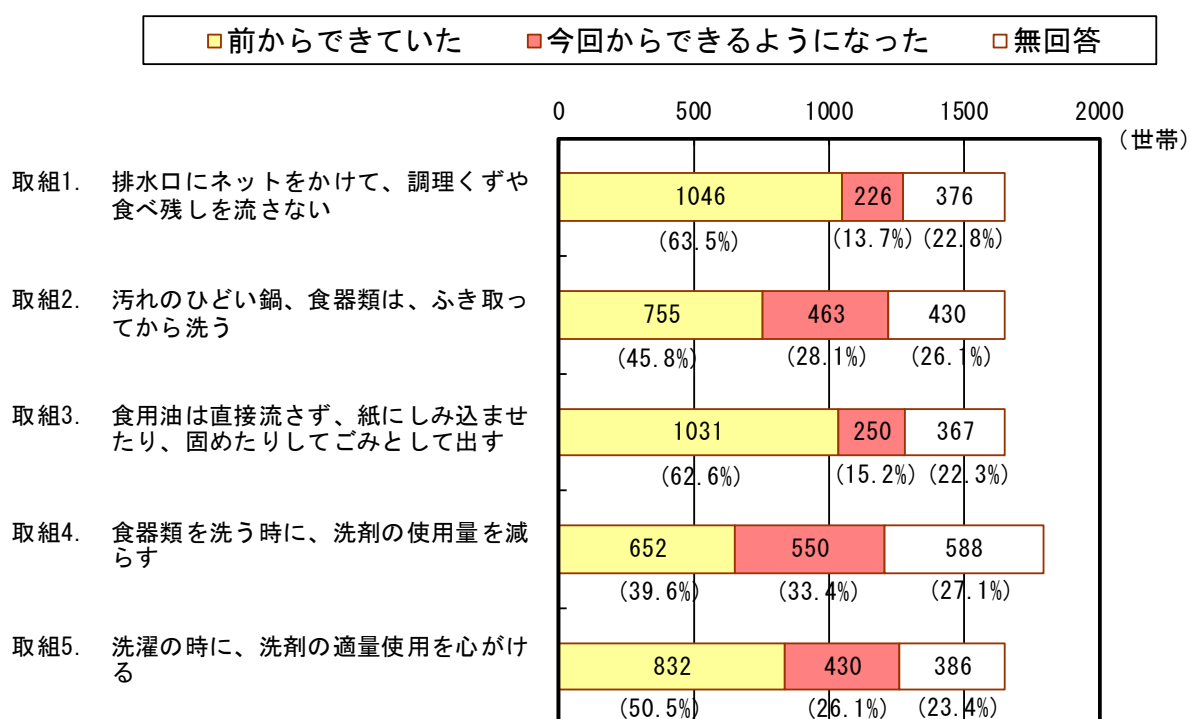
- 洗剤（食器用や洗濯用）を選ぶ時に、環境に優しい物に買い替えてみようと思いました。
- 家族の協力のもとで行って全員関心が高まったと思う。
- 土手の草刈りがキレイにしてある場所には投げすてゴミがないと思います。
- 河川について考えるきっかけになるので、続けて欲しいです。
- 今、自分ができることを実行していかないと次世代の地球が心配。
- 洗濯の水が泡立って川に流れて来ます。（上流から）
- 河川浄化の運動も地域で数年続けているので環境についてあえて会話はいいませんが、運動を通して環境への関心は高く、維持していると思います。
- 主婦として食器の洗剤や洗濯の洗剤は常に気にかけて使っています。
- 川をゴミ捨て場と思っているのか、ゴミがよく捨ててあるのを見る事が多々ある。

3.2.3 Q3 「水質浄化の取り組み」を実行した結果、どのように暮らし方に変化が現れたかをお尋ねします。

「排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない」「食用油は直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりしてごみとして出す」という項目は、6割程度の世帯で以前から実践されている、という結果になりました。

「汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う」「食器類を洗うときに、洗剤の使用量を減らす」「洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける」という項目は、今回から新たに3割程度の世帯の方に実践していただくことができました。

「その他の取り組み」という項目で、独自の取り組みについてお伺いしたところ、たくさんのお返事をいただきました。



[その他の取り組み (主な回答)]

- 残食を減らす
- 水をあまり多く出さない
- お米のとぎ汁は庭木にまく
- 油の再利用
- ゴミの分別をする
- 食器を水につけ汚れを落としやすくした
- 洗車の回数を減らす (自宅)
- 入浴剤を使わない
- シャンプー・ボディーソープの使用量を減らす
- 自然にやさしい洗剤にする

- 洗濯の時に風呂の水を使う
- ポイすてをしない
- 食洗機を使う
- 週1回町内のゴミ拾い
- 食べ残しをしない量を考えて調理をする
- 三角コーナーと排水口の2ヵ所にネットをする
- ペットボトル、トレイ、牛乳パックのスーパーへの提供

3.2.4 Q4 『河川浄化チャレンジ月間』について、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

意識の変化や今後の取り組みへの決意など、年間を通じた取り組みとして流域全体へ展開していくことが期待できる積極的な意見が多数見受けられました。

<河川浄化チャレンジ月間について（主な回答）>

- こういう取り組みをすることで芦田川をきれいにしようとする意識が高まっていくと思うのでいいと思います。
- 素晴らしい取り組みなので、続けて欲しいですし、続けたいです。一人でも多くの方が意識を高めて未来の子ども達に安心して暮らせる環境であって欲しいものです。
- 私が小学校の頃は川（芦田川）で泳いで遊んでました。そんな川に戻って欲しいです。
- 子どもの頃に、環境を大切にする取り組みや学習をすることで、大人になっても役立つと思います。毎日の生活で気をつけることは、とても良い習慣につながると思います。
- このような取り組みがあることを初めて知りました。意識して生活排水の取り組みをしてみると、何げなくしていたことが、あたりまえの行動になりました。小さなことですが自分の行動が少しでも芦田川の美化に役立つと嬉しいです。
- 芦田川の汚れはよく新聞にも出ていますが、水質浄化にどんなことができるのか、一人ひとりが意識して、日常から取り組めるようにしたいものです。
- 環境のことを少しでも意識して生活することが大切だと思いました。
- 毎年、この調査を実施されていますが、継続されているのは良いと思います。というっかりしたりしますが、このアンケート用紙にふれると、そうそうきちんとしなければと再認識します。
- 以前から取り組んでいた為、違和感は全くなく続けられた。こういう習慣が一人でも多くなれば良いと思う。
- 生活排水改善も大切です。ゴミも流れているのをみかけるので、特にプラゴミとかの処分方法も徹底してほしい。
- 日頃より何となくは気にしていたつもりですが、この取り組みによって改めて環境について考え、子どもと話すきっかけにもなりました。
- 子どもが学校で習った芦田川について色々教えてくれるので、やりがいがあります。

- 子ども達だけでは、まだ取り組みにくいところもあるけれど、声をかけて少しでも意識してもらえるとうれしい。関心をもってもらえる事で取り組みも広がると思うのでこれからも続けてほしいです。
- 大人だけではなく、子ども達にも日常からこのような取り組みに関心を持ってもらえた事がうれしいし、子ども達にも協力してもらえて助かりました。
- 芦田川を助けるために、自分にできることをしっかりと考えて行動できてとてもうれしく、すがすがしい気持ちになった。
- 自分が流している汚水が、芦田川の汚染につながっていることをあらためて感じる事ができた。毎日のことなのでこれからも続けていきたい。
- 子どもたちも洗剤の量を意識して使っていたので、授業の効果だと思います。
- 学区も芦田川に近いので、気を付けてもっともっときれいな川になって、子どもたちが遊べる川になれば良いと思います。
- 子どもの頃からこういった取り組みに興味を持つ活動は大切だと思います。一緒に取り組むことで楽しくできました。

<今後の取り組みへの決意等（主な回答）>

- 河川浄化チャレンジを何回かやっていくうちに、生活排水に気を付けるようになった。もっと芦田川も高屋川もキレイになってほしいです。
- 環境について家で会話をする良い機会がもてました。ありがとうございました。
- これからも続けていきたいです。川をキレイにできるようにみんながこの活動を続けて行ってほしいです。
- わたしは、これからも川をきれいにするために、ネットをつけたり、洗濯の時に洗剤の使用を減らしたりなど、工夫をしていこうと思いました。
- 昔から、何も思わずしていたけれど、あらためてやってみて、みんなに声かけをしていきたいです。
- 今、芦田川の水質がどのような状態なのか可視化され、これからも一人ひとりが常時意識し続けていくことが必要だと思います。大切な地域環境を守るために、私も意識し続け、周りにも呼びかけていきたいと思います。
- 1ヶ月間、6つのことに、気をつけてできたのでよかったです。これからも、取り組んでいきたいです。
- 地球環境の問題の一つとして重要な取り組みだと思います。一人一人が気を付けることが最も重要なことであり継続的な力を発揮できると思っています。

| | | |
|---------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 助成番号 | 助成事業名 | 所属・助成事業者氏名 |
| 2019-6113-006 | 芦田川きれい☆きれいプロジェクト 「河川浄化チャレンジ月間」 | 芦田川環境マネジメントセンター 会長・田中 宏行 |

| | |
|-------------|--------|
| 助成事業の主な実施箇所 | 主な実施箇所 |
| | |

| | | |
|---------------|----|----|
| 河川基金ロゴ等表示状況写真 | 遠景 | 近景 |
| | | |

| | | | | |
|----------|---|--------|----------|-----|
| 延べ参加人数 | 一般 | 1,648名 | スタッフ・事務局 | 13名 |
| マスコミ等の反響 | FM ふくやま (ラジオ) で取り組み参加者募集の放送 (10/25~11/29) | | | |